

## 佐伯地方の先覚者たち



古藤田 著

会員の著書紹介

# 佐伯地方の先覚者たち

古藤田 太 著

(会員・弥生町江良)

覚者達が如何に苦難の道をたどり、いかにしてそれを乗り越えて進んだか、その姿に深い感動をうけました。

当地方には、まだまだ隠れた先覚者達がいられ、それを掘り越されるところに、大きな期待を持ちます。

『佐伯史談』でおなじみの古藤田会員の労作です。この本は先に「大分合同新聞」に六十回にわたり連載したものを基にして、更に補筆訂正を重ね、新たに二名を追加して十六名分をまとめて一冊としたものです。

この本に収められている十六名の中には、我々の記憶に新しい人もあれば、またこの本によって始めて名前と業績を教えられた人もいます。その範囲は佐伯市・南郡の全域に及んでおり、丹念に歩き資料収集に万全を期しています。

氏は「弥生町歴史と文化を語る会」の会長で、他にいろいろな役職を持ち極めて多忙です。その中であって、この著作を成し遂げられたことに深い敬意を表します。

私はこの本を読みながら、何度か涙を流しました。先

- 最後にこの本に記載されている人物を紹介しましょう。
- 1 大分県椎茸の父月本小策
  - 2 歌人中根貞彦
  - 3 奉仕に生涯をささげた山田俊脚
  - 4 椎茸貿易の先駆者天野辰兵衛
  - 5 日本酪農の先覚者出納陽一
  - 6 農民一揆と左右衛門
  - 7 架橋に燃える内田善太郎
  - 8 堂宮大工の双壁黒木徳次郎と荒牧伊三夫
  - 9 戊申溜池と安達平太郎
  - 10 キヤノンの世界のキャノンにした御手洗毅
  - 11 佐伯を描き続けた菅一郎
  - 12 捧受網の川野松二郎
  - 13 車橋の高司佐平
  - 14 日本製薬社長市野瀬潜
  - 15 産業振興につくした黒木幸太郎
  - 16 浦辺の林業家小野長三郎
- 以上十六名

定価 一〇〇円 送料 二〇〇円

注文は著者及び佐伯史談会事務局と編集部にて